2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月９日

上 場 会 社 名	ＮＳＷ株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9739	URL	https://www.nsw.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役執行役員社長	（氏名）	竹村　大助
問合せ先責任者	（役職名） 取締役執行役員副社長	（氏名）	須賀　譲　　（TEL）03-3770-1111
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月２日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（決算説明動画の配信）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	25,493	2.6	2,315	△1.9	2,287	△5.9	1,554	△6.7
2026年３月期中間期	24,854	2.7	2,360	△14.4	2,431	△12.5	1,666	△12.6

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,561百万円（△5.9%）　2026年３月期中間期　1,658百万円（△12.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	104.35	―
2026年３月期中間期	111.83	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	48,525	38,186	78.7
2026年３月期	49,289	37,891	76.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　38,186百万円　　2026年３月期　37,891百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	40.00	―	85.00	125.00
2027年３月期	―	60.00			
2027年３月期（予想）			―	65.00	125.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	54,000	3.0	5,400	2.1	5,450	△1.5	3,750	1.1	251.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	14,900,000株	2026年３月期	14,900,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	623株	2026年３月期	623株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	14,899,377株	2026年３月期中間期	14,899,377株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、金利上昇や物価高などの景気の押し下げ要因もありましたが、企業収益は底堅く推移し、堅調な雇用環境や継続的な賃上げによる個人消費の持ち直しの動きも見られ、ゆるやかな回復基調を維持しました。一方で、米国経済動向や中東情勢、金融資本市場の変動など、今後の企業業績や景気に与える影響を注視していく必要があります。

かかる中、情報サービス産業におきましては、DX推進やAI活用の本格化を背景に、クラウド、データ活用、レガシーシステム刷新などの需要は引き続き旺盛であり、企業の競争力強化や生産性向上を支える重要な投資分野となっています。また、サイバー攻撃の高度化・巧妙化を背景に、セキュリティ対策やガバナンス強化の必要性が高まっており今後もデジタル投資需要は底堅く推移していくものと見込まれます。一方、AI技術の急速な進展や競争環境の変化に加え、顧客企業における費用対効果を重視した投資案件の選別強化など、今後の事業環境の動向にも留意していくことが重要であると考えます。

このような状況のもと、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、受注高・売上高は堅調に推移し、受注高25,575百万円（前年同期比0.1%増）、売上高25,493百万円（同2.6%増）となりました。利益については、AIに関する戦略的な投資や一部の事業ポートフォリオ再編に伴う人的シフトやリスキリング施策の実施により一時的に収益性が低下したことから、営業利益2,315百万円（同1.9%減）、経常利益2,287百万円（同5.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益1,554百万円（同6.7%減）となりました。

当中間連結会計期間の報告セグメント別の概況は、次のとおりであります。

＜エンタープライズソリューション＞

売上高につきましては、金融・公共分野のシステム開発が好調に推移したものの、一部製造業向けビジネスをサービスソリューションに移管した影響により減収となりました。利益につきましては、高収益案件の増加に加え、販管費の減少により増益となりました。

これらの結果、受注高は6,999百万円（前年同期比9.4%減）、売上高は6,788百万円（同11.2%減）、営業利益は870百万円（同2.4%増）となりました。

＜サービスソリューション＞

売上高につきましては、エンタープライズソリューションからの製造業向けビジネスの移管に加え、データマネジメント分野の堅調な伸びもあり増収となりました。一方で、利益につきましては一部の移管事業の再編に伴う人的シフトやリスキリング施策の実施の影響で減益となりました。

これらの結果、受注高は8,224百万円（前年同期比11.3%増）、売上高は8,417百万円（同17.3%増）、営業利益は79百万円（同42.3%減）となりました。

＜エンベデッドソリューション＞

売上高につきましては、通信分野におけるネットワーク機器開発案件が好調を維持し増収となりました。利益につきましては、増収に伴う売上総利益の増加により増益となりました。

これらの結果、受注高は5,595百万円（前年同期比0.7%増）、売上高は5,647百万円（同4.3%増）、営業利益は756百万円（同1.7%増）となりました。

＜デバイスソリューション＞

売上高につきましては、主要顧客の投資状況に濃淡がありつつもデバイス開発分野が堅調に推移したことでほぼ横ばいながら増収となりました。利益につきましては、販管費の増加などが影響し減益となりました。

これらの結果、受注高は4,756百万円（前年同期比2.5%減）、売上高は4,640百万円（同0.5%増）、営業利益は609百万円（同3.1%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、48,525百万円となり、前連結会計年度末比764百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少（3,906百万円）、売掛金及び契約資産の減少（1,573百万円）がありましたが、有価証券の増加（2,003百万円）、流動資産の「その他」に含まれる前払費用の増加（437百万円）、投資有価証券の増加（2,000百万円）があったことによるものであります。

総負債は、10,338百万円となり、前連結会計年度末比1,059百万円の減少となりました。これは主に、買掛金の減少（675百万円）、流動負債の「その他」に含まれる未払金の減少（333百万円）があったことによるものであります。

純資産は、38,186百万円となり、前連結会計年度末比294百万円の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ1,902百万円減少し、17,648百万円となりました。

当中間連結会計期間の活動別概況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,789百万円（前年同期比969百万円の収入の増加）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益2,286百万円に対し、増加要因として売上債権の減少額1,489百万円、減少要因として、仕入債務の減少額675百万円、前払費用の増加額646百万円、法人税等の支払額534百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,414百万円（前年同期比1,077百万円の支出の増加）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出2,000百万円、長期前払費用の取得による支出241百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,282百万円（前年同期比608百万円の支出の増加）となりました。これは主に、配当金の支払額1,264百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年5月11日に発表しました業績予想に対し概ね計画通り進捗しており、変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,650	15,744
売掛金及び契約資産	15,105	13,531
電子記録債権	235	271
有価証券	―	2,003
商品	915	847
仕掛品	1,292	1,494
貯蔵品	1	1
その他	752	1,208
貸倒引当金	△42	△9
流動資産合計	37,911	35,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,981	1,941
工具、器具及び備品（純額）	407	367
土地	3,493	3,493
その他（純額）	105	106
有形固定資産合計	5,987	5,909
無形固定資産		
ソフトウエア	20	424
ソフトウエア仮勘定	398	―
のれん	32	26
その他	20	22
無形固定資産合計	471	473
投資その他の資産		
投資有価証券	2,000	4,000
繰延税金資産	1,380	1,303
その他	1,551	1,794
貸倒引当金	△12	△51
投資その他の資産合計	4,918	7,047
固定資産合計	11,377	13,430
資産合計	49,289	48,525

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,688	3,012
未払法人税等	674	799
未払消費税等	461	361
賞与引当金	1,203	1,038
工事損失引当金	49	7
製品保証引当金	12	30
その他	2,244	2,021
流動負債合計	8,334	7,271
固定負債		
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	2,687	2,688
その他	374	376
固定負債合計	3,063	3,067
負債合計	11,397	10,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	86	86
利益剰余金	32,258	32,547
自己株式	△1	△1
株主資本合計	37,843	38,132
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	51	56
退職給付に係る調整累計額	△3	△2
その他の包括利益累計額合計	47	54
純資産合計	37,891	38,186
負債純資産合計	49,289	48,525

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	24,854	25,493
売上原価	19,814	20,543
売上総利益	5,039	4,950
販売費及び一般管理費		
役員報酬	114	116
執行役員報酬	114	129
給料及び賞与	854	903
退職給付費用	31	32
福利厚生費	166	179
通信交通費	103	131
業務委託費	220	247
賃借料	196	147
広告宣伝費	383	237
貸倒引当金繰入額	－	8
その他	491	500
販売費及び一般管理費合計	2,678	2,634
営業利益	2,360	2,315
営業外収益		
受取利息	30	61
為替差益	8	－
その他	33	29
営業外収益合計	72	91
営業外費用		
為替差損	－	10
情報セキュリティ対策費	－	95
その他	1	13
営業外費用合計	1	120
経常利益	2,431	2,287
特別利益		
固定資産売却益	－	3
特別利益合計	－	3
特別損失		
固定資産売却損	－	3
固定資産除却損	12	0
特別損失合計	12	3
税金等調整前中間純利益	2,418	2,286
法人税、住民税及び事業税	571	656
法人税等調整額	181	75
法人税等合計	752	732
中間純利益	1,666	1,554
親会社株主に帰属する中間純利益	1,666	1,554

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	1,666	1,554
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△10	5
退職給付に係る調整額	2	1
その他の包括利益合計	△7	6
中間包括利益	1,658	1,561
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,658	1,561

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,418	2,286
減価償却費	234	246
のれん償却額	6	6
賞与引当金の増減額（△は減少）	△453	△165
工事損失引当金の増減額（△は減少）	52	△42
製品保証引当金の増減額（△は減少）	－	18
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	15	2
受取利息及び受取配当金	△30	△61
売上債権の増減額（△は増加）	693	1,489
棚卸資産の増減額（△は増加）	△558	△127
仕入債務の増減額（△は減少）	145	△675
前受金の増減額（△は減少）	114	132
未払消費税等の増減額（△は減少）	△190	△99
立替金の増減額（△は増加）	△0	△19
前払費用の増減額（△は増加）	△591	△646
未払金の増減額（△は減少）	62	△65
未払費用の増減額（△は減少）	△69	△25
預り金の増減額（△は減少）	15	23
その他	△8	5
小計	1,854	2,283
利息及び配当金の受取額	16	40
法人税等の支払額	△1,050	△534
営業活動によるキャッシュ・フロー	820	1,789
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△218	△122
無形固定資産の取得による支出	△49	△61
資産除去債務の履行による支出	△25	－
投資有価証券の取得による支出	△1,000	△2,000
会員権の取得による支出	－	△11
会員権の売却による収入	－	17
長期前払費用の取得による支出	△44	△241
その他	0	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,337	△2,414
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△669	△1,264
その他	△4	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△674	△1,282
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	5
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,201	△1,902
現金及び現金同等物の期首残高	19,666	19,550
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,464	17,648

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	エンタープライズソリューション	サービスソリューション	エンベデッドソリューション	デバイスソリューション	
売上高					
外部顧客への売上高	8,115	6,622	5,414	4,701	24,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	△470	555	△2	△82	－
計	7,644	7,177	5,412	4,619	24,854
セグメント利益	849	137	743	629	2,360

（注）　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	エンタープライズソリューション	サービスソリューション	エンベデッドソリューション	デバイスソリューション	
売上高					
外部顧客への売上高	6,796	8,231	5,949	4,515	25,493
セグメント間の内部売上高又は振替高	△8	185	△302	125	－
計	6,788	8,417	5,647	4,640	25,493
セグメント利益	870	79	756	609	2,315

（注）　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。